

# 書籍購入補助 申請締切迫る！！

本年度末（令和3年3月31日）年齢の1の位が4歳・8歳となる教弘会員が  
本年4月1日から12月31日までに書籍（3千円以上）を購入で補助

### 補助条件

本年4月1日から12月31日までの間に  
書籍を3千円以上購入  
（レシート等を申請書に添付）

### 申請締切

令和2年12月31日（当日消印有効）

### 補助内容

図書カード3千円



詳細は弘済会岐阜支部HPで  
確認をお願いします（検索：弘済会岐阜）。

# 弘済会そくほう

令和2年11月号

発行  
公益財団法人  
日本教育公務員  
弘済会 岐阜支部  
Tel 058-272-9513

提携保険会社  
ジブラルタ生命保険  
株式会社  
営業所電話番号

岐阜第1/2/3営業所  
058-267-6006  
大垣営業所  
0584-83-4500  
関営業所  
0575-22-3793  
美濃加茂営業所  
0574-25-3658  
多治見営業所  
0572-21-3732  
恵那営業所  
0573-20-0055  
高山営業所  
0577-32-1623

# 本年度末ご退職の皆様へ

定年退職・55歳以上で早期退職される教弘会員の皆様へ

### ■ 退職記念品をお届けします

対象となる皆様に「退職記念品」をお届けします。学校担当LCがご退職前に皆様のもとに伺い、「教弘保険等の保険料払い込み方法」に関する確認をさせていただき際にお届けします。

### ■ 教弘保険は65歳満了時まで自動継続されます

教弘保険は、ご退職後も安心して生活していただけるよう、現在の保障のまま、**健康状態に関わらず65歳満了時まで自動継続**されます。継続に当たっては、退職金の一部を使っての全期・前納されることをお勧めします。若干の割引が適用され、毎月の保険料の負担等の心配が不要となります。

### ■ 満了後はK型への移行が可能です

65歳で教弘保険満了を迎えられた方は、**健康状態に関わらず「教弘保険K型」への加入が可能です。**

### ■ 退職継続記念品をお届けします

65歳が満期となっている「教弘保険」を継続された会員様には、後日（10月頃までに）「退職継続記念品」をお届けします。

退職される全ての教弘会員の皆様へ

### ■ 友の会に自動的に加入となります（会費等は不要）

ご退職になられた教弘会員の皆様は、自動的に「友の会」に加入となります（会費等は不要）。友の会では、現職時と同様に福祉事業を利用できます。更に「健康増進補助（左の説明参照）」を申請することができるようになります（56歳以上）。  
友の会の皆様には、毎年度「友の会会報」をお送りします。

健康増進補助

56歳以上の友の会の皆様は人間ドック等を受診し、  
年度内合計1万5千円以上を個人負担した場合に5千円を補助  
（人間ドック等）

人間ドック・特定健康診断・一般健康診断・各種検診・肝炎ウイルス検査等



## 弘済会の「独り言」(47)

5月号の「独り言」で「働き方改革」に関する内容を取り上げたところ、「読者の広場」に何件かの投稿をいただいた。「業務量や教員定数の問題をそのままにした時間だけの問題ではない」「教員の使命感に依存していることの問題」等、それぞれに感じられた意見を寄せていただいた中に、「働き方改革についてきちんと理解しているのか」というお叱りもいただいた。思いと伝えることの難しさを改めて感じた。「往々にして過去は美化されてしまう」と言われるが、過去は過去としてそこに学んでいただけることがあれば幸いだし、「おかし」と感じられれば改善のために活かしていただければと願う。「読者の広場」では、いただいた全ての投稿を紹介することはできないが、多くの方々からの投稿があれば作成者としてもうれしい。

ところで皆さんは「サザエさん症候群」という言葉をご存じだろうか。サザエさんが放送される日曜日の夕方になると、翌日からの仕事のことを頭によぎって憂鬱になり、体調不良や倦怠感を訴える症状のことを意味する日本特有の俗称だそう。この言葉を初めて聞いたのは20代後半だったような記憶があるが、その時の私は「サザエさん症候群」ならまだいい。俺なんか『のど自慢症候群』だと思った。ご存じのように「のど自慢」は午後零時15分から放送されるが、現職時代の私のことを妻は「日曜の午後以降は、あなたがピリピリしていることがよく分かった。だからできるだけ近付かないようにしていた」と、今でも時々言う。そんな私だったから、日曜日の夜にゆっくりとドラマを見るときは始まらなかった。

今年の4・5月、新型コロナウイルス問題で外出自粛になった時、テレビでは再放送が主流となった。

（裏面に続く）



# 164名に奨学金を給付

弘済会岐阜支部の給付奨学事業は  
国公立高1年生  
(各校1名 定時・通信制は各2名)  
特別支援学校高等部1年生(各校2名)に  
各5万円の奨学金を給付する事業です

私は、給付奨学生の決定を受けて、自分への自信と学校生活への決意が生まれました。担任の先生が私を奨学生として推薦してくださった時、他の先生も授業を頑張っている姿がふさわしいと賛成してくださったと伺いました。先生方が私を信用して推薦してくださっていることを知り、それを聞いただけで本当に嬉しい気持ちになりました。そのため、先生方の期待に応えられるようにしっかりと努力し、さらにはその期待を超えられるよう人一倍頑張っているという強い決意につながりました。今まで、「私は外国人だから…」など自分を少し下に見てしまうことがありました。特に中学生の時は、勉強が苦手で、テストの点数もなかなか伸びない時期が続き、どんなに頑張っても無理なのではないかと諦めかけてしまった時もあります。ですが、今は高校生になり、新たに気持ちを入れ替え、できることは一生懸命頑張ろうという思いで勉強や部活に取り組んでいます。そんな今、この給付奨学生の決定を受けて、自分もやればできるんだという大きな自信につながりました。小さなことでも努力を積み重ねることで、結果に結びつく実感したので、これからの高校生活においても、さらにレベルアップできるよう自分を信じて頑張りたいです。

(令和元年度奨学生の報告書より)

## 給付奨学二次募集 実施を決定

新型コロナウイルス問題により家計等に影響を受けた生徒(高校・高等部1年生対象)を対象に更に122名に給付することを決定

### 各種お祝い品・記念品を発送

#### ① Tプライフ補助記念品

11月1日現在の教弘会員様の内、今年度中に20・30・40・50歳・還暦・古希・喜寿・傘寿を迎えられる方に記念品(図書カード2千円)を下旬までに順次送付します(申請不要)。

記念品をお届けする封筒には受領書が同封されています。FAXにて岐阜支部まで返信願います。

#### ② 継続祝記念品

教弘保険5・10・15・20・25年継続の方が対象です(申請不要)。所属にギフトカード(2千円)を送付します(受領書の返信不要)。



## 弘済会の参事レポート

八坂の塔から

可茂・東濃・飛騨地区 高校・特別支援学校担当参事  
安江 隆幸



京都東山の五重塔と言えばその姿を思い描ける人は少なくないと思います。ずいぶん前のことになりますが、休日にカメラを抱えてあの辺りを歩いた時の事、素人ながらベストアングルを求めて塔のふもとまでたどり着いてしまいました。今では中に入れることは希だそうですが、私が訪ねたその時は、拝観料を払えば中に入ることができました。塔の内部は別世界です。仏像や来迎図、仏舎利を収める礎石、建物を支える芯柱等を見ることができます。その脇の急な梯子のような階段を二階に上ると四方に窓があって、そこから京の町を望むことができました。窓を通しての限られた視界でしたが、時代の変遷を色濃く感じさせてくれるタイムカプセルに乗っているような錯覚にとらわれました。現在の八坂の塔は、1440年に足利義政の支援で再建された建物で、誰もが認める京都のシンボルになっています。世界中に時代を超えて受け継がれる建物が数多くありますが、それらを守り維持する人々がその時々には必ず存在して維持保存されてきたことも事実です。

日本教育公務員弘済会も児童・生徒たちや教職員を支援する団体として、教職員によって70年間かけて大きく育てられた組織です。新しい時代の支え手により支えられ、末永く受け継がれてゆくことを願いながら学校へお邪魔させていただいております。

その中の一つに「JIN 仁」があった。このドラマが放送されたのは09年(日曜夜9時から)頃で、まだ現職だった私は烈然のことながら見ていなかったが、今回は感動しながら楽しんだ。人によって好みは違ってくるだろうが、いいドラマというのは何か引きつけるものがある。このドラマでは「神は超えられる試練しか与えない」というメッセージが何度か登場した。当然のことだがドラマの世界と現実とは同じではない。現実には乗り越えられない試練が与えられることがある。挫折のまま終わることさえある。今年当初からの新型コロナウイルス問題だけでなく、近年の日本を襲う豪雨被害や異常なまでの暑さの中での教育活動、児童生徒の安全確保の問題等、これらは「乗り越えられない試練」ではなく「乗り越えなければならぬ試練」とも言えよう。そうした中で日々の教育活動が行われている。その一方で、乗り越えられない試練も少なからずある。多くの場合1年で切れる担任と生徒との関係は、うまくいっている時はよいがそうでなければ時間切れとなり、後々まで悔いが残ることも少なくない。教員6年目。中3の担任をしていた。彼らと過ごした日々は、これまでもこのコーナーで度々取り上げてきた。学級経営に悩み円形脱毛症を発症したのもこの時である。それでもこの時の生徒の多くとは、今でも同窓会で顔を合わせるし、グループラインを組んで情報のやり取りをしている。しかし、卒業以来、一度も同窓会に参加をしていない生徒、卒業後の居住地が不明な生徒もあり、その中には私との関係が改善されないままとなっている者も数名いる。

今年度は、標準授業時間数を確保することだけでも大変な年ではあるが、そうした過去には例のない大変さの中にあっても、生徒にとってはかけがえのない1年である。残り5ヶ月、先生との関わりにおいて一生涯の宝となる思い出を創り上げていただきたいと心から願う。

